

ポリサルファイド系

ポリジェット®

空港舗装の
耐油性目地には
必要不可欠です

米国連邦規格 SS-S200E、200D適合品

ポリジェットは空港コンクリート舗装の目地シーリング材に必要とされる伸縮追随性、耐油性、耐熱性、施工性その他の性能を合せ持つ二成分形の脱鉛型ポリサルファイド系シーリング材です。

空港コンクリート舗装用目地シーリング材として標準規格の米国連邦規格に適合する製品で、空港での施工においては国内・国外で多くの実績があります。



▲自動混合機械での注入状況(空港エプロン目地注入)

特 長



耐候性、耐老化性良好



接着性が良好

接着性が良好で、コンクリート版の動きに良く追随し、路盤への水の浸透を防止します。既設のポリジェットとの打ち継ぎ時の接着性も良好です。



高弾性で耐熱・耐油性あり

高い弾性と優れた耐熱性、耐油性を有しており、注入目地材としての機能を十分に発揮します。



早期開放が可能

硬化後の粘着が小さく、早期に開放できます。



鉛化合物不使用

硬化触媒に鉛化合物を使用していないので、地球環境に優しいシーリング材です。



作業性良好

ポリジェットは、セルフレベルリングタイプのシーリング材の為、注入後に液面が水平になります。

品 種

ポリジェット200M

機械混合注入用

硬化物色:クロ

混合比 主剤:硬化剤=1:1(容積比)

- ・自動混合注入機械にて注入します。
- ・少量使用の場合は、手混合注入をする事も可能です。
- ・混合物は短時間で硬化します。
- ・ポリジェット200Mは低温下においても短時間で硬化可能です。
- ・当社では独自開発の専用自動混合注入機械で責任施工を行っています。

(米国連邦規格SS-S200E、200D合格)



取扱説明動画

ポリジェット200H

手混合注入用

硬化物色:クロ

混合比 主剤:硬化剤=1:1(重量比)

- ・施工には、手動式の簡単な混合機械(ハンドミキサー等)と注入用ハンドガンが必要です。
- ・小規模工事や専用注入機械で施工できない箇所に使用されます。

(米国連邦規格SS-S200E、200D合格)

用 途

●空 港

滑走路・エプロン・タクシーウェイ・洗機場等
コンクリート膨張目地及び収縮目地

※簡易施工用として二筒カートリッジタイプの「ポリジェットガングレード」もあります。

●その他(耐油性を必要とする水平目地)

ガソリンスタンド、道路側溝、道路地覆部目地、防波堤、
工場倉庫など



AOI Chemical Inc.

一般物性

試験項目		単位	ポリジェット	
			200H	200M
粘度	A	Pa・s	150以下	200以下
	B		150以下	200以下
可使用時間	5℃	h	—	—
	23℃		1以上	
	40℃		—	
タックフリータイム		h	12以内	3以内
老化促進試験		—	簡単な攪拌で均質な液状に戻らない程度の沈殿、分離、硬化の徴候あるいは0.16cm厚さ以上の被膜の無い事 (体積変化±5.0%以内)	
			(弾性試験75%以上、初期針入度0.05~0.20cm)	
自己水平性		mm	高低平均差異3.2以下	
			溝断面両端の深さの差1.6以下	
重量変化		%	±2.0以内(±5.0以内)	
体積変化		%	±5.0以内	
弾性試験		%	75以上	
初期針入度		mm	0.5~2.0	
耐候性試験	外観	—	表面の軟化、硬化不足、軟化中断のオイル状皮膜の形成、マスチック状物質の移行、発泡、泡立ちの無い事	
	体積変化	%	±5.0以内	
接着性試験	非浸漬	—	3サイクルの伸長、圧縮後表面のクラック亀裂、剥離、シーラントの空隙の無い事	
	水浸漬			
	油浸漬			
耐炎性試験		—	燃焼、硬化、流動、剥離の無い事	
流動試験		—	クラック、垂れ、その他寸法変化の無い事	

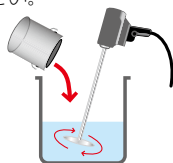
※米国連邦規格SS-200E適合品。但し、()内は200D。

施工上の注意

- (1) Mタイプは自動混合注入機械で注入施工を行い、Hタイプは電動又は手動攪拌機で均一に混合しコーキングガン等で注入します。

Hタイプ混合時には**自動反転攪拌機の使用を避けて下さい。**

- (2) 使用する前は主剤と硬化剤の各々をよく攪拌して下さい。
- (3) コンクリート目地部は、レイトンス、コンクリートカッターノロ、油分、異物等をサンドブラスト、ワイヤーブラシやコンプレッサー等で取り除いた後によく乾燥させて下さい。



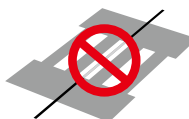
- (4) プライマーはほこり、湿気などを取り除き、目地部とシーラ材を完全に接着させる為に使用します。コンクリート目地にはプライマーNo.3を塗布して下さい。(塗布量200~300g/mf)



- (5) プライマーNo.3は清掃した目地の両側に均一に塗布し、十分に乾燥させてからポリジェットを注入して下さい。(必要によりバックアップ材を挿入して下さい)

- (6) 既存シーラ材を撤去してポリジェットを注入する際には、既存シーラ材との相性を確認して下さい。

- (7) ポリジェットの上に塗装やラインを引く場合には軟化する場合がありますので注意が必要です。ウレタン系塗料との相性はあまり良くありません。



- (8) アスファルト目地に注入する事は避けて下さい。アスファルト成分とポリジェットが反応してアスファルトを溶解させる事があります。
- (9) その他安全性に関する詳細は、安全データシート(SDS)を参照下さい。

保存上の注意

- (1) ポリジェットを貯蔵する場合、直射日光を避けて暗所に保管して下さい。
- (2) 開封したものは全部使用するのが望ましいですが、残った場合には缶を必ず密閉して保存し、早期に使用して下さい。



荷姿

品番	荷姿		消防法危険物情報
200M	5ℓ/セット	主剤:2.5ℓ/缶 硬化剤:2.5ℓ/缶	主剤:危険物第四類第三石油類 硬化剤:危険物第四類第四石油類
	40ℓ/セット	主剤:10ℓ/袋×2袋 硬化剤:10ℓ/袋×2袋	
200H	5ℓ/セット	主剤:2.8ℓ/缶(3.45kg) 硬化剤:2.5ℓ/缶(3.45kg)	主剤:危険物第四類第三石油類 硬化剤:危険物第四類第四石油類
プライマー No.3	1kg/缶 14kg/缶		危険物第四類アルコール類



ポリジェット200M
5ℓ/セット

アオイ化学工業株式会社

本社/〒731-0141 広島市安佐南区相田1丁目1番26号 TEL(082)877-1341(代)

http://www.aoi-chemical.co.jp FAX(082)879-7260

東北支店/TEL(022)384-3171(代) 広島工場/TEL(0826)46-3511(代)

FAX(022)382-1260 FAX(0826)46-2843

関東支店/TEL(03)3993-9311(代) 埼玉工場/TEL(048)584-2511(代)

FAX(03)3993-9315 FAX(048)584-2510

北陸支店/TEL(025)280-0131(代) 北京支社/TEL +86(10)-65584184

FAX(025)281-8338 アオイテク/サービス(株)/TEL(082)877-0017(代)

中部支店/TEL(052)332-5611(代) アオイコーポレーション(株)/TEL(082)877-7336(代)

FAX(052)332-5615 アオイドリーム(株)/TEL(082)831-1345(代)

近畿支店/TEL(06)6631-2060(代) シンガポール/AOI KAGAKU(SINGAPORE)

FAX(06)6631-2170 PTE.LTD.

中四国支店/TEL(082)877-7171(代)

FAX(082)877-5280

九州支店/TEL(092)623-5556(代)

FAX(092)623-5559

<ご注意> 都合により予告なく本資料の内容を変更する事があります。 ※製品のお問い合わせは各支店・営業所までご連絡下さい。

ポリジェット カタログ管理番号PJ-02-HO-10 25/03 1,250(TS)